

3年連続で100万円で競り落とされた「天下人」＝愛知県豊山町、
名古屋市中央卸売市場北部市場



「天下人」3年連続100万円

県産ブランド柿 今季初競り

県産高級ブランド柿「天下舞」の今季初競りが31日、愛知県豊山町の名古屋中央卸売市場北部市場で行われ、最高級の「天下人」が3年連続となる2個100万円（税抜き）で競り落とされた。海外でも認知されつつあり、岐阜県産柿のさらなるブランド化を印象付けた。

天下舞は、高い糖度とサクサクした食感が特徴で、出荷は9年目。品質に応じて3等級に分かれ、糖度25度以上、1個300g以上は、最高級の天下人に位置付けられる。県によると、10月の古田肇知事のフランスでのトップセールスでも話題に上るなど、認知度が高まっている。

県園芸特産振興会果樹部会長（かき部門部長）の加藤一美さん（54）は「気候変動の影響で果樹の不作が相次ぐ中で昨年と同等の値が付いたことに感謝。生産者の励みになる」と喜んだ。天下人は、青果仲卸の「丸進青果」（豊山町）が昨年に続いて競り落とした。パロー高辻店（名古屋市中区）で販売される。（稲葉亮）